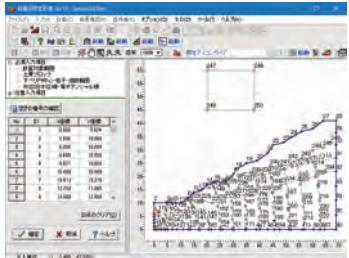
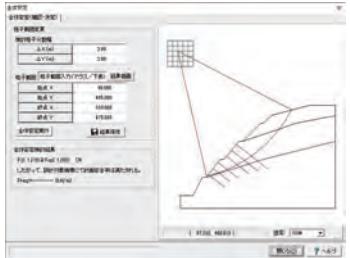


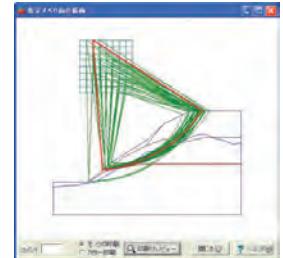
▼形状・属性入力(モデルビューワ)



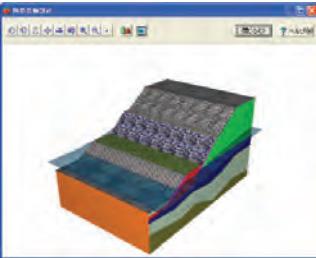
▼対策工の検討(アンカーアー)



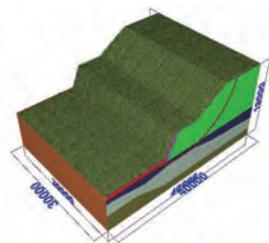
▼複数すべり面の同時描画



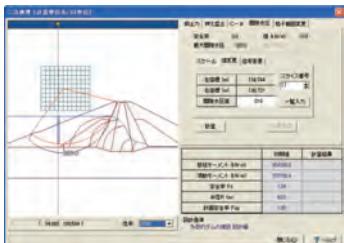
▼簡易景観設計のテクスチャ設定



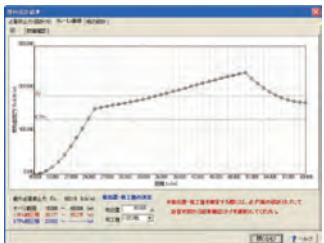
▼3Dアノテーション機能



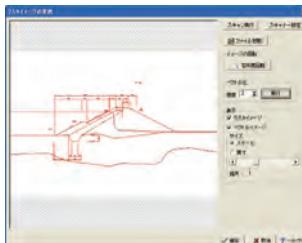
▼二次処理一間隙水圧変更画面



▼杭工Ru-Lx曲線出力



▼SXF生成ツール(スキャナからの画像読み込み、画像(TIF,BMP,GIF,JPEG)ファイルのベクトル化)



## 参考文献

1. 道路土工要綱 H21年6月 日本道路協会
2. 道路土工 基本工法・斜面安定工指針 H21年6月 日本道路協会
3. 道路土工のり面工・斜面安定工指針 H11年3月 日本道路協会
4. 道路土工 軟弱地盤対策工指針 H24年8月 日本道路協会
5. 設計要領第一集 土工編 H24年7月 東・中・西日本高速道路株式会社
6. 鉄道構造物等設計標準・同解説 土構造物 H19年1月 鉄道総合研究所
7. 鉄道構造物等設計標準・同解説 耐震設計 H24年9月 鉄道総合研究所
8. 宅地耐震設計指針(案) S59年3月 住宅・都市整備公団都市開発事業部
9. 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年4月 日本港湾協会
10. 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H19年9月 日本港湾協会
11. 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H30年5月 日本港湾協会
12. 建設省河川砂防技術基準(案) 設計編[II] H9年10月 日本河川協会編
13. 多目的ダムの建設 設計編 S62年 ダム技術センター
14. 建設省河川砂防技術基準(案) 設計編[ I ] H9年10月 日本河川協会編
15. 第二次改訂ダム設計基準 1978年8月 日本ダム会議
16. 土地改良事業計画設計基準 設計「ダム」技術書「フィルダム編」 H15年4月 農林水産省農村振興局
17. 土地改良事業計画設計基準 設計「ダム」基準書 技術書(共通編) H15年4月 農林水産省農村振興局
18. 土地改良事業計画設計基準 計画「農地地すべり防止対策」 H16年3月 農林水産省農村振興局計画部資源開発課
19. 土地改良事業設計指針(ため池整備) H18年2月 農林水産省農村振興局整備部設計課
20. 土地改良施設 耐震設計の手引き H16年3月 農林水産省農村振興局整備部設計課
21. 防災調節池等技術基準(案) H13年8月 日本河川協会
22. 河川堤防堤防の構造検討の手引き H24年2月 國土技術研究センター
23. 中小河川における堤防点検・対策の手引き(案) H16年11月 國土技術研究センター
24. 高規格堤防盛土設計・施工マニュアル H12年3月 リバーフロント整備センター
25. 新版 地すべり鋼管杭設計要領 2003年6月 地すべり対策技術協会
26. 多目的ダムの建設 調査編 S62年 ダム技術センター
27. 貯水池周辺の地すべり調査と対策 2010年12月 國土開発センター
28. 土質工学ハンドブック 第7章(斜面安定) S61年10月 土質工学会
29. 斜面安定解析入門 H13年4月 地盤工学会
30. 港湾構造物設計事例集 H19年3月 沿岸技術研究センター
31. 渔港・漁場の施設の設計の手引き 2003年版 全国漁港漁場協会
32. 渔港・漁場構造物設計計算例 H16年 全国漁港漁場協会
33. 道路橋示方書・同解説 V耐震設計編 H29年3月 日本道路協会
34. 河川堤防の液状化対策工法設計施工マニュアル(案) H9年10月 建設省土木研究所 耐震技術研究センター・動土質研究室
35. 屋外タンク貯蔵所 基礎の規制基準(杭基礎及びリング基礎について) 解説 S58年1月 土木学会監修 危険物技術研究会編

## 共同溝の耐震計算

プログラム価格  
¥211,200  
(税抜¥192,000)

Windows 8/10 対応

電子納品

液状化の判定、液状化による浮上り照査、  
縦断方向の耐震設計を行うプログラム

## トンネル断面算定

プログラム価格  
¥233,200  
(税抜¥212,000)

Windows 8/10 対応

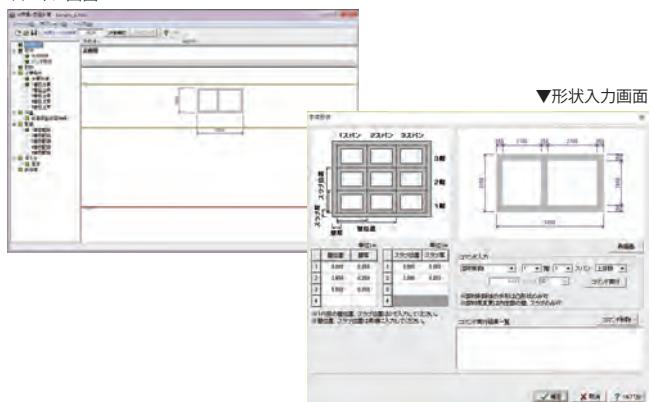
電子納品

NATMトンネルの設計業務において幾何学的要素で決定される項目の計算を支援

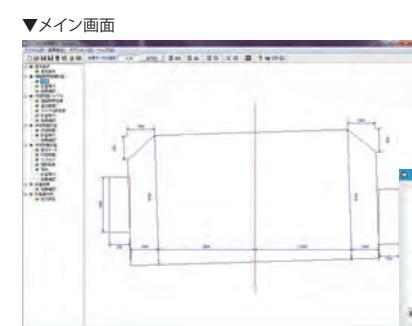
「共同溝設計指針 (S.61.3)」を参考に、地盤の液状化の判定、共同溝の液状化による浮上り照査、共同溝の縦断方向の耐震設計を行うプログラムです。

- 液状化、共同溝の浮上りの検討、共同溝の耐震設計を同時に5ヶ所まで計算
- すべての検討でレベル1地震時を対象
- 地盤種別は、特性値から求める方法、当該地盤の地層構造から選択
- 共同溝形状は、3連3階までで各種形状を取り扱い可能
- 液状化の判定、液状化による浮上り照査に対応
- 縦断方向の耐震設計：軟弱地盤部、地盤条件変化部についての耐震設計

▼メイン画面



▼形状入力画面



▼メイン画面

